

目標達成計画

作成日: 平成29年2月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所理念の共有と実践として、目指すサービスのあり方「理念」が介護の現場で実践に結びついていない現状がある。	職員全員が共通理念を把握し実践する。	月に一度の面談時に、理念を再度伝え、職員がどのように考え、介護を実践されているのかをヒヤリングし把握する。また、共通理念がどのように伝わっているのかを再度検証する。	3ヶ月
2	2	事業所と地域の付き合いとして、地域は好意的な受け入れ姿勢であるが、単発行事や季節行事だけになっているため、暮らしの中で立ち寄れる場所として、関係性の強化を目指してはどうか？	近隣住民との関係性の強化と暮らしの中で立ち寄れる場所として発信する。	4月の自治会総会で、掲げた目標に対し発信させて頂き、オレンジCAFÉなどの取り組みから進める。	6ヶ月
3	36	入居者のインフルエンザに対し、2次感染が起こった。	感染症対策を厳重に行い、初期対応と、連動した一貫性のある対応が出来る事業所を作る。	感染症研修は職員の実践にて行われているが、対応事例を基にシュミレーションを実施し、たるみ東のマニュアルとしていつでも確認できるようにする。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。